

日韓共同リウマチ後続薬

月内にも販売



関節リウマチのバイオシミラー
開発に携わった松野院長
—富山市内

韓国・LG化学が共同で開

葉は持田製薬(東京)と

医薬品の後続薬で、異常な
免疫の働きを抑制し、関節

松野リウマチ整形外科(富山市呉羽町)の松野博明院長(金沢市出身)が開発に携わった、関節リウマチのバイオ医薬品の後続薬「バイオシミラー」が5月下旬にも、厚生労働省の承認を経て販売される見通しそうだ。後続薬は日韓の製薬会社の共同開発で、松野院長が両国で承認を得るための論文をまとめた。後続薬は効果と安全性が先発薬とほぼ同じで、価格を7割程度に抑えられるため、医療費の軽減につながると期待される。

医療費軽減に効果

発した。遺伝子組み換えなどの技術を応用したバイオ

の炎症や骨の破壊を抑える効果がある。投薬を続ける

首相が獣医大構想認識か

15年2月、加計氏が面会

愛媛県が新文書、答弁と矛盾

学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡り、愛媛県の中村時広知事は21日、交渉経緯に関する新たな文書を国会に提出したと明らかにした。共同通信が入手した新文書によると、2015年2月25日に加計孝太郎学園理事長が安倍晋三首相を知ったのは17年1月20日。

15年2月25日に加計学園部構成を知ったと記されている。この文書によると、全国で約70万人の患者が多いとみられるバイオシミラーすでに販売されているバイオ医薬品と同等の効

果と安全性、品質を持つバイオ製剤。バイオ医薬品は化学会社で作られる珍奇な医薬品とは異なり、培養技術などによって作られるため、先行の薬剤と全く同じものができないことから「似たもの」と意味する「シマラー」と呼ばれる。

関節リウマチ、免疫異常に悪化すると関節の変形を招く。30～50歳で発症する例が多く、全国で約70万人の患者が多いとみられる。

関節リウマチ、免疫異常に悪化すると関節の変形を招く。

30～50歳で発症する例が多

く、全国で約70万人の患者が多いとみられる。

関節リウマチ、免疫異常に悪化すると関節の変形を招く。

30～50歳で発症する例が多

く、全国で約70万人の